



ジーセブン  
**G7 (主要7カ国首脳会議)  
茨城・つくば科学技術大臣会合とは**



地球博士

G7とは、世界の主要な国のトップが集まる会議のこと。世界の様々な課題について話し合われ、ここでとりまとめられる首脳宣言は世界を動かしていくのです。

2016年は日本が議長国となり、三重県の志摩市で首脳会議が開かれました。この会議に合わせ、茨城県つくば市では**科学技術大臣会合**が開かれ、7カ国と1地域の代表が集まりました。

そもそも「科学」ってなにがしう？

科学とは、自然界の「不変の法則性」を探る方法のことなんだフクー。数式や実験、観察で、だれでも「再現できること」が大事だって言われているフクッ。

ふしぎと思うこと これが科学の芽です  
よく観察してたしかめ そして考えること これが科学の茎です  
そうして最後になぞがとける これが科学の花です

「ふしぎだと思ふこと」ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の言葉  
京都市青少年科学センター所蔵の色紙より引用

ぼくは、ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の言葉が好きフクー♪

それでは「科学技術」とは？

科学が解き明かした自然界の理を生かして、人間の暮らしに役立つように発展させたものが「科学技術」じゃな。

産業、医療、情報など、様々な分野で人々の暮らしはどんどん豊かで便利になってきておりますぞ。

なぜ「大臣」が集まって会議を開いたの？

科学技術を担当する大臣は、国の問題を解決し、国の力を高めるために、科学技術の発展にどのような支援をするか国としての方針を定める人です。

科学技術によって、人間の暮らしは進歩してきたけれど、一方で世界にはまだまだたくさん問題があります。ひとつの国では解決できないことも多いのです。

そこで、各国の大臣が話し合い、これから世界で協力して進めていくべきことをまとめて、世界に向けて発表しました。



この会議の成果として発表された声明文が、「つくばコミュニケ」です。

※コミュニケ：共同声明、声明文



**会議がつくば市で開催された意義**

それでは、この重要な会議がなぜつくば市で開催されたのでしょうか。



それは、つくば市が「科学の街」だからだフクッ！

街の真ん中にロケットがあるし、研究所だってたくさんあるし、それから、えーと…。



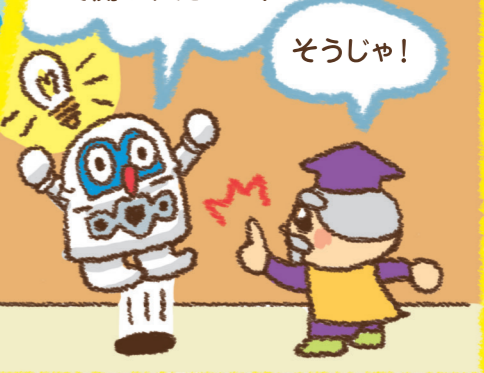
あわてるな。日本の中でも、つくば市は「科学の街」として発展してきた歴史があるんじゃないよ。

研究学園都市が現在のつくば市に建設されることが決まったのは1963年のことじゃ。大学や研究機関が研究学園都市に集まり、そのための街が新たにつくられたのじゃな。



1985年には科学万博(国際科学技術博覧会)が開催されたのう。

知ってるフクッ！今の万博記念公園で開かれたフク？



そうじゃ！

その後も研究学園都市は発展を続け、現在では、300を超える研究機関と、2万人ほどの研究者が集う街になったんじゃ。



そして、G7茨城・つくば科学技術大臣会合の最終日に発表された声明文にも、科学の街「つくば」の名がつけられたのです。

地球の未来をよりよいものにするために掲げられた、「つくばコミュニケ」の6つの大事なことを次のページからみんなで一緒に考えてみましょう。

